

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課  
担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道57号立野拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 九州地方整備局
起終点	自：熊本県阿蘇郡長陽村赤瀬 至：熊本県菊池郡大津町瀬田			延長	6.0 km	
事業概要	<p>一般国道57号立野拡幅は、熊本県阿蘇郡長陽村赤瀬から菊池郡大津町瀬田に至る延長約6kmの4車線拡幅事業である。阿蘇の外輪山入口部で上り勾配が5%を超える区間が連続することから、登坂車線を設置する事業(延長2.8km交差点改良を含む)として昭和52年度に事業化された。また、昭和62年度には、将来的に交通量の増加が予想されたことから、交通混雑緩和も含め4車線拡幅事業として計画が見直された。</p> <p>現在、4車線の幅を確保した上で、これまで1.6kmについて登坂車線として3車線を供用している。</p> <p>一般国道57号立野拡幅の整備により、走行性の向上、交通混雑の緩和及び国際観光拠点である阿蘇地域の活性化に大きく寄与するものである。</p>					
S52年度事業化	都市計画決定 無(都市計画区域外)		S54年度用地着手	S57年度工事着手		
全体事業費	約161億円		事業進捗率	29%	供用済延長	1.6 km
計画交通量	17,800~22,600台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (残事業) 2.3	総費用 (残事業)/(事業全体) 106/176億円 (事業費：86/155億円 維持管理費：21/21億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 244/331億円 (走行時間短縮便益：204/259億円 走行費用減少便益：35/66億円 交通事故減少便益：4/7億円)	基準年 平成15年		
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>個性ある地域の形成(主要な観光地へのアクセス向上が期待される)</li> <li>安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる)</li> </ul>					他5項目に該当
関係する地方公共団体等の意見	<p>一般国道57号は阿蘇地域と熊本市を結び地域間交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、大津町をはじめとする関係1市8町6村の首長で構成される国道57号整備促進期成会より毎年早期整備の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線には観光施設等が立地し、立野地区における交通渋滞はますます深刻化している。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	進捗率は事業費ベースで29%となっており、現在までに1.6 kmを暫定供用している。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成14年度末現在での事業進捗率は、事業費ベースで29%となっており、引き続き用地買収を促進するとともに、関係機関及び地権者等との協議を進め未供用区間の早期供用に向け整備を推進していく。					
施設の構造や工法の変更等	新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減を図る。					
対応方針						
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>立野拡幅 L=6,000m W=25.0m</p> <p>The map shows the project route from the north to the south. Key sections include: 73-4区 L=1,500m, 73-3区 L=1,700m, 73-2区 L=1,600m, 73-1区 L=600m, and a section with L=2,800m. It also indicates 'H16供用予定(3/4)' and '供用中(3/4)' for various segments. Landmarks like '大津町' and '立野登坂' are marked. A legend in the top left corner defines symbols for '供用中' (in use), '事業中' (under construction), '再評価箇所' (re-evaluation area), and '立ち供用中' (temporary use).</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。